

2024.9月発行

花巻

宮沢賢治
イベントカレンダー
2024 秋冬号

八幡田んぼアート

- 開催日／9月頃まで
※10月上旬に稲刈り予定
- 会 場／石鳥谷生涯学習会館駐車場
東側から眺めることができます
石鳥谷町八幡地域で宮沢賢治の童話を題材に制作する巨大な田んぼアートです。
- お問合せ先／
八幡まちづくり協議会（八幡振興センター） TEL 0198-45-3535



1924年の春 -『春と修羅』 『注文の多い料理店』刊行100年-

- 開催日／開催中～令和7年1月30日（木）
- 会 場／宮沢賢治イーハートブ館
『春と修羅』『注文の多い料理店』の刊行百年を記念した展示会を行っています。
- お問合せ先／宮沢賢治イーハートブ館
TEL 0198-31-2116



秋のイベント

宮沢賢治とイギリス海岸パネル展

- 開催日／9月21日（土）～23日（月・祝）
- 会 場／イギリス海岸
賢治が目にした歴史・風景をパネルで紹介、イギリス海岸にまつわる作品などを展示します。
- お問合せ先／ドーバーファーム市民の会
TEL 0198-23-7787（菊池）



～どんぐりと山猫に会いに行こう～ 大迫の山歩きツアー【秋編】

- 開催日／9月7日（土）
- 会 場／笛貫の滝等
大迫地域における宮沢賢治の足跡をたどるトレッキングツアーです。
- お問合せ先／
花巻市大迫総合支所
地域振興課地域づくり係
TEL 0198-41-3124



第34回 宮沢賢治賞・ イーハートブ賞贈呈式

- 開催日／9月22日（日）
- 会 場／なはんプラザ
宮沢賢治の名において顕彰されるにふさわしい研究・評論、実践的活動等を行った個人・団体に贈呈します。贈呈式後は、受賞者による貴重な記念講演や記念発表を観覧することができます。参加申し込みは不要です。
- お問合せ先／
花巻市
（賢治まちづくり課）
TEL 0198-41-3591



賢治祭

- 開催日／9月21日（土）
- 献花会場／「雨ニモマケズ」詩碑 午後1時～
メイン会場／花巻市文化会館 午後4時～6時半
賢治作品の朗読や合唱、演劇、郷土芸能などの公演を行います。
- お問合せ先／宮沢賢治記念会
TEL 0198-31-2117

童話村の森ライトアップ2024

- 開催日／開催中～10月27日（日）
毎週土日祝
※上記の内容に変更が生じる場合があります。
最新情報は市HP（右のQR）からご確認ください。
- 会 場／宮沢賢治童話村
宮沢賢治童話村の自然と幻想的なオブジェの光が融合した空間演出による賢治の作品世界をお楽しみください。
- お問合せ先／実行委員会事務局（花巻市賢治まちづくり課）
TEL 0198-41-3591



冬のイベント

第5回 賢治さんの世界 を描く絵画展

- 開催日／令和7年1月中旬～3月末
- 会 場／宮沢賢治イーハートブ館
花巻市内の小学生が、宮沢賢治の作品世界を思い思いに描いた絵画を展示します。今回で5回目の開催。
- お問合せ先／宮沢賢治イーハートブ館
TEL 0198-31-2116

第16回「雨ニモマケズ」朗読全国大会

- 開催日／令和7年2月1日（土）
- 会 場／なはんプラザ
「雨ニモマケズ」をいろいろな表現で朗読する全国大会です。（出演者募集イベント）。
- お問合せ先／
実行委員会事務局
TEL 090-6454-3210（菊池）



宮沢賢治カフェ

- 開催日／毎月第3土曜日
（8月17日、9月21日を除く）
午後2時から1時間半程度
- 会 場／賢治の広場
宮沢賢治に学び、宮沢賢治を楽しむことを目的に講話・学習会や賢治作品の朗読・鑑賞などを行っています。参加・出入り自由でどなたでも参加することができます。
- お問合せ先／
宮沢賢治・花巻市民の会
TEL0198-24-0818（賢治の広場）

花巻・賢治を 読む会月例会

- 開催日／毎月第3火曜日
午後1時半～4時
- 会 場／まなび学園
賢治作品を読み合い、賢治ゆかりの地をめぐる予定です。ご自由にご参加ください。
- お問合せ先／
花巻・賢治を読む会
TEL0198-45-5704（代表）

ユネスコティータイム （読書会）

- 開催日／
①9月27日（金） ②11月15日（金）
③令和7年2月14日（金） 午後2～4時
- 会 場／花巻ユネスコ会館（御田屋町）
2冊（うち1冊は賢治作品）を取り上げ、読後の感想を自由に語り合う会です。1回のみ参加も可能です。
- 参加料：500円（コーヒー、ケーキ代）
- お問合せ先／花巻ユネスコ協会
TEL・FAX 0198-26-5418（堀合）

四季のおはなし会

- 開催日／神無月の巻：10月26日（土）
睦月の巻：令和7年1月25日（土）
午後2～3時
- 会 場／賢治の広場
宮沢賢治の精神が伝わる「賢治の広場」で3か月ごとに開催しています。子ども大人も共に楽しめるように季節の絵本や賢治さんのお話を届けます。神無月の巻は「いちようの実」を、睦月の巻は「雪わたり」を予定しています。
- お問合せ先／こども広場・マグノリア
TEL 090-6229-7738（牧野）

特別展「刊行100周年 二冊の初版本」

- 開催日／開催中～令和7年2月9日（日）
- 会 場／宮沢賢治記念館
令和6年度は宮沢賢治が生前に刊行した『心象スケッチ 春と修羅』と『イーハートヴ童話 注文の多い料理店』の二冊の本が、出版から100年を迎えます。これを記念し二冊の本にかけた賢治の創作に対する熱い思いを特別展にて取り上げます。初版本や直筆稿はもちろん、刊行の際に作成された広告チラシや絵画といった貴重な資料の展示も行います。
- お問合せ先／宮沢賢治記念館
TEL 0198-31-2319



「イギリス海岸」出現の試み

- 開催日／9月21日（土）
- 会 場／イギリス海岸
イギリス海岸は、当時は夏になると川底の青白い凝灰岩質の第三紀層が露出し、イギリスのドーバー海峡を思わせたことから賢治により名づけられました。現在川底は見られませんが、賢治の命日には、発電事業者等の全面的な協力のもと、上流ダムの放流・取水調整を行うことで出現を試みます。※天候により中止、または出現が成功しない場合があります。
- お問合せ先／花巻市（賢治まちづくり課） TEL 0198-41-3591
岩手河川国道事務所（河川管理課） TEL 019-624-3281
北上川ダム統合管理事務所（ダム関連） TEL 019-643-7971



第29回 賢治葛丸祭

- 開催日／10月14日（月・祝）
- 会 場／大瀬川構造センター
春日流鹿踊、石鳥谷吟詠会の発表、市内小中高生が書いた手紙の朗読を行います。
- お問合せ先／石鳥谷賢治の会
TEL 090-8258-6170（熊谷）

第24回 収穫祭

- 開催日／10月27日（日）
- 会 場／イギリス海岸
イギリス海岸の畑で収穫したサトイモで芋の子汁を振る舞います。焼いもの試食や白菜、キャベツなどの野菜販売もあります。
- お問合せ先／ドーバーファーム市民の会
TEL 0198-23-7787（菊池）

第23回 全国高校生童話大賞表彰式

- 開催日／12月7日（土）
- 会 場／なはんプラザ
全国の高校生から寄せられた童話の中から優れた作品を表彰します。受賞作品の朗読も行います。
- お問合せ先／
実行委員会事務局（富士大学）
TEL 0198-23-7238



特別展「童話 紫紺染について」

- 開催日／令和7年2月22日（土）～令和7年5月6日（火・祝）
- 会 場／宮沢賢治記念館
童話「紫紺染について」は、盛岡の特産物「紫紺染」を復興させようと工芸学校の先生や、町の紫紺染研究会の人たちが相談して、かつて紫紺を取り扱っていたといわれている山男から製法を聞き出すというお話です。直筆稿のほか、成立過程を示す資料などから作品の魅力に迫ります。
- お問合せ先／宮沢賢治記念館 TEL 0198-31-2319

第18回 賢治三月祭

- 開催日／令和7年3月9日（日）
- 会場／道の駅「石鳥谷」
賢治が石鳥谷で行った肥料相談の様子を描いた詩「三月」。この詩碑がある道の駅石鳥谷で、詩の群読や精神歌の合唱を行います。
- お問合せ先／石鳥谷賢治の会
TEL 090-8258-6170（熊谷）

【発行】
花巻市賢治まちづくり課
〒025-8601
岩手県花巻市花城町9番30号
TEL:0198-41-3591（直通）
FAX:0198-24-0259

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、上記のイベント会場・内容・期間が変更になる可能性があります。花巻市HPに掲載の最新情報をご確認ください。



おすすめ スポット♪

賢治ゆかりの地
秋冬編



①花巻農学校跡

大正12年から3年間、賢治が教鞭を執った県立花巻農学校跡地の東側は、現在ざんどう公園として利用されています。秋には紅葉を楽しむのほか、公園内には宮沢賢治に關したモニュメントがいたるところに配置されています。



③葛丸川

奥羽山脈を源流とする溪流であり、ハイキング、紅葉狩りなどを楽しむことができる絶好のスポット。宮沢賢治の童話「樽の木大学士の野宿」の舞台にもなりました。冬には「たろし滝」という大きな氷柱が見られ、毎年2月11日に測定会が開催されます。



②鉛温泉

賢治は大正7年、盛岡高等農林学校研究生として、「稗貫郡地質及土性調査」に携わるため、鉛温泉を訪れ、周辺一帯の地質を精査しました。当時、旧友に宛て、毎日冷たい沢水に浸かっていることや、調査の状況などを書き送っています。



④丹内山神社

昔、丹内山神社は丹内権現と呼ばれ、例大祭ともなれば、大変にぎわったといわれています。賢治が書いた詩「祭日（一）」に登場する「谷権現」とは現在の丹内山神社のことです。丹内山神社には「七不思議」が存在すること。ぜひ一度、足をお運びください。

